



ユニフェム東京 NEWS

Vol.27

2009. 3. 5

NPO法人ユニフェム（国連女性開発基金）日本国内委員会／東京地域委員会

2009 年「ユニフェム東京総会」 開催報告

2009 年 1 月 29 日(木)午後 1 時から、津田塾大学同窓会会議室で、出席者 28 名有効委任状 105 通、133 名を以って開催された。規約に基づき、五十嵐康子会長が総会議長に就き、書記 2 名・署名人 2 名を選出の後、総務より 2008 年度の事業報告、会計による 2008 年度決算報告、監事による監査報告があり、出席者全員の承認を得た。つづいて、2009 年度事業計画と予算案が提示され、出席者全員に諮られ、五十嵐会長より補足説明も加えられ承認された。終了後、日本国内委員会の副理事長で、「升本基金」運営委員長の安陪陽子氏を迎え、講演会をおこなった。(3 ページ参照)



ユニフェム東京 2008 年度・拠出金

755,493 円

日本国内委員会 2008 年度・拠出金

7,576,493 円

日本政府拠出金

648,875 (米ドル)

2008 年度主な事業報告 2008.1.1～2008.12.31

1. 正会員(個人会員 322 名、団体会員 9 団体)賛助会員 5 名

2. 広報・啓発活動

*「ユニフェム東京 NEWS」24～26 号

*ホームページを新たに制作、更新。パワーポイント作成。

*学習・講演会の開催

プロジェクト支援国ラオスの文化を知る集い、大使館訪問、ラオス料理のデモンストレーションと懇親会
第 7 回「お話の会」カンボジアの子どもたちのために
学校をつくろう！

3 事業、他機関行事

*年次総会 2008 年 1 月 28 日(月)

*ユニフェム日本国内委員会常任理事会に出席

*地域等委員会ネットワーク会議

第 4 回アフリカ開発会議(TICAD IV)シンポジウム
ユニフェム本部のジョアンサンドラー氏等歓迎会
イネス・アルベルディ新事務局長来日、意見交換会、歓迎懇親会に出席

*第 12,13 回チャリティーコンサート

齊藤一也ピアノリサイタル(5 月 10 日・東京文化会館)
横山幸雄&矢部達哉デュオ・リサイタル
(12 月 20 日・紀尾井ホール)

4 バザーおよび募金活動

オールソフィアンの集い、PP, 実践桜会、普連土学園、清友会、吉祥寺教会、群馬婦友会等、オープンルーム

2008 年度決算報告 2008.1.1～2008.12.31

1. 収入の部

会費収入	973,000		
事業収入	2,855,084	啓発活動	189,800
		コンサート	1,597,000
		グッズ	1,068,284
寄付金収入	419,950	寄付	174,510
		活動寄付	245,440

募金収入 14,918

利息 7,021

前期繰越金 5,265,942

収入合計 9,535,915

2. 支出の部

事業費	2,645,229		
管理費	1,739,706		
		事務所費	1,203,193
		事務費	536,513

ユニフェム拠出金

755,493

次期繰越金 3,589,178

支出合計 9,535,915



ニューヨークから
ユニフェム新事務局長
イネス・アルベルディさんが来日！



昨年9月就任後、年内の来日を約束していたイネス事務局長は、12月4日韓国から関西空港に降り立ち、堺市とユニフェムの関係者と会い、5日は東京で外務省や官邸・麻生総理を表敬訪問した。翌6日午前11時から国連大学に隣接する「こどもの城」でファン・ド・マネージャーのアントニー・ディヨン氏と共に「ユニフェム国内委員会理事との意見交換会」をおこなった。

日本国内委員会理事長の有馬真喜子氏が一行の来日のお礼を述べた。イネス事務局長は、日本国内委員会が10年以上に亘り協力してくれたことと、11月25日の「暴力撤廃」の署名に100万人の目標が500万人以上になったことへ

のお礼を述べた。またこのたび、ニューヨークで刊行された「世界の女性の 進歩2008/2009」の日本語版の冊子ができたことを喜ばれた。「Who Answers to Women?」と言うタイトルは、具体的努力が表示されていると高く評価した。

アントニー氏からは、「各国のユニフェムの拠出金に0を加えてほしい。」と要望もあり、また「ニューヨーク本部と各国との情報交換を諮り、若者や男性にも参加してほしい。」と話した。

昼からは、UNカフェで歓迎昼食会を催した。8地域等委員会のメンバーが集い、イネスさん等と親しく懇談した。

イネスさんに握手を求めると、気安く声を掛けてくれ、今後の私たちのユニフェムへの活動を期待した。

その席上「ユニフェム東京」の五十嵐会長は「活動資金と拠出金の割合の問題について、拠出金の占めるパーセントを下げてもらいたい。特に広報・啓発に充てる活動資金を考慮してほしい。」と訴えた。



イネス事務局長と歓談する
五十嵐会長



聖なる弦楽器のハーモニー

第13回

「ユニフェム東京」 チャリティーコンサート
 横山幸雄 & 矢部達哉



12月20日(土)の午後、一流のクリスマス・コンサートにふさわしく、国の内外で注目を浴びておられる二人の演奏家を迎えて、紀尾井ホールで「ユニフェム東京」のチャリティーコンサートが開催された。後援の学校法人上野学園、協賛のヤマハ株式会社、協力「NP0みんなの言葉」の準備段階からの絶大な応援をいただいて今回の開催に至った。

ソロでそれぞれ名前を馳せておられるお二人の共演は、「これ以上のセレブはない」と、専門家の声も囁かれた。

来場者の皆さんも、これぞ芸術の夢の世界と思われたに違いない。「暮れの忙しい日々にもまたとない至福の時を過ごしました。」と感動のことばを述べていた。



演奏中の舞台



会場は四谷の「紀尾井ホール」



多くのファンが駆けつけた大盛況のコンサート

笑顔をプレゼントして 15 年

認定 NPO 法人ユニフェム日本国内委員会
副理事長、「升本美苗基金」運営委員長

安陪 陽子氏



私を突き動かしたもの

人との出会いによって人生は変わる。

1991 年 ILO にいた北郷さんに誘われて、ユニフェムのインド・スタディーツアーに参加したことが、私のユニフェムへの眼を開かせてくれた。ニューデリーから飛行機でラジャスタン州のウダイプルへプロジェクトを見に行ったら、かつて密林だったところが禿山になり、井戸の水は深く掘らなければ出ない貧しい農村。桑を植えて蚕を飼って生糸を紡ぐ。牛の糞と土を固めた家に住み、女ばかり働いていて、男は路上でバクチをし、酒を飲んでいて。村の広場に色とりどり、よそゆきのサリーを着て集まった女性たちと現地語、英語で話し合いをした。プロジェクトのリーダーが数え歌を歌っていた。「マリベナ(姉妹よ)会合に集ろう！マリベナ、子どもを学校に行かせよう！マリベナ、力をつけよう！マリベナ、搾取をやめさせよう！マリベナ役人に訴えよう！」彼女たちの生活はその後どうなったのだろうか、思いめぐらしている。

ユニフェムの生い立ちと使命

1975 年メキシコで国際婦人年世界会議が開催された（藤田たき首席代表＝副議長）。このときの決議で 76 年から 10 年間を「国連婦人の十年」と定めた。85 年にその名称が「国連婦人開発基金（ユニフェム）」となり、その後、「婦人」が「女性」となった。ユニフェムは国連の中では、UNDP(国連開発計画)と連携関係にある機関である。

その使命は、①女性の貧困撲滅 ②女性に対する暴力の根絶 ③女性・女児の HIV/エイズ感染防止 ④平時・戦時を問わず、民主的な意思決定の場でのジェンダー平等の実現、である。

国内委員会と地域等委員会

世界に先進諸国がたくさんあっても国内委員会が 16 しかないというのは、先進国でもまだ意識が乏しい。日本は 92 年 11 月、国連大学で発会式を行なって 15 年。2004 年 9 月 NPO

法人認可になり、2008 年 4 月に認定 NPO 法人となった。この特典は寄付をすると、寄付金から 5,000 円を引いた金額がすべて所得控除になる。地域等委員会にはこの特典がないが、国内委員会に寄付をしてくれたら、いくらかバックできるようになればと思う。(笑)

当初は集めたお金をそのままニューヨークの本部に送っていたが、顔が見えない寄付は考えるべき、と国内委員会の拠出金に見合ったプロジェクトのメニューをもらい、国内委員会で決めて、送金できるようになった。

升本美苗基金

日本国内委員会設立準備委員会から一緒に活動した升本美苗さんが 2002 年 12 月逝去され高額の遺贈金をユニフェムに寄付された。中村道子さん等 5 人で「升本基金」の運営委員会をつくり、「開発途上国の女性のエンパワーメントとジェンダー平等を目的とする活動を支援！」ということで助成金(団体)・奨学金(個人)をスタートさせた。2008 年の募集は第 5 回の助成金、第 4 回の奨学金となった。他からあまり援助を受けていない団体を選考し、途上国の草の根の活動に成果を上げている。その中で 2004,5 年と助成した「新潟国際ボランティアセンター」の活動が目を引く。

バングラデシュの貧困家庭の母親のための識字教室を新潟国際ボランティアセンターが開いた。「ミナエコリ識字教室」である。「ミナエ」は「美苗」で、「コリ」はベンガル語で「教室」である。「ミナエコリで勉強しよう」が合言葉。

彼女らの住む家はトタン屋根、サイクロンで壁は破れ、生活水は近くの池の水だ。補習授業に通う子どもたちの非識字の母親たちが受講生だ。6 ヶ月のコースで午前中の授業、ベンガル語の読み書きを教員が手を取って教え、中間・最終試験もおこなう。卒業時には手紙が書け、計算ができる。文字が読めることで、郵便の仕分けの仕事に就けた者もいる。卒業生全員にヤギが贈られる。(講演趣旨)

「世界の女性の進歩」

「ユニフェム日本国内委員会」は、昨年ニューヨーク本部で刊行された、「Progress of The World's Women 2008/2009」（「世界の女性の進歩」2008/2009）の単行本を翻訳、要旨を冊子にまとめた。タトイトルは「Who Answers to Women?」（誰が女性に答えるのか?）



現実の諸問題を明確に提示し、「誰が女性に答えるのか?」の率直な問いに答えを見いだすべくまとめている。国連のミレニアム開発目標（2015年）の中間年の報告書で、①極度の貧困と飢餓の撲滅 ②普遍的初等教育の達成 ③ジェンダーの平等と女性のエンパワーメント ④乳幼児死亡率の削減 ⑤母体の健康改善 ⑥HIV/エイズ、マラリアその他の疾病との闘いを減少 ⑦環境の持続可能性の確保 ⑧開発のためのグローバルなパートナーシップの推進の8項目の状況を、データ等を挙げて報告している。

「ユニフェム東京」10周年記念講演



講師：大石 芳野氏
フォト・ジャーナリスト

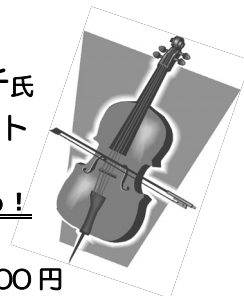
「戦禍の現場を撮りつづけて」

日時：2009年10月10日（土）
午後1:00～

会場：婦選会館1Fホール
渋谷区代々木2-21-11
Tel/Fax 03-3370-0238

「ユニフェム東京」第14回チャリティーコンサート

元ウィーンフィル管弦楽団奏者
アダルベルト スコチッチ氏
チェロコンサート



いよいよ 3月28日（土）迫る！

開演：午後2:00

会場：白寿ホール /4,000円

《おもな曲目》

- 1 シューマン・幻想小曲集
- 2 ベートーヴェン・チェロとピアノのためのソナタ
- 3 ドヴォルザーク・ロンド
- 4 チャイコフスキー・カプリッチョ風小品
- 5 フォーレ・蝶々、シチリアーナ 他

*ご入会・ご寄付をいただき
有難うございます。

新規会員

寄付者

佐藤 マサ子 柏倉 幸子 大高 敦子
松山 容子 古山 滋子 渡辺 珠
小久保義江 南 祐子 群馬婦友会
清友会(代表/友清和親)

活動寄付者

青木 淳子 安陪 陽子 秋元 和子
望月 浪江 関川 桃子 河合 充子
五十嵐 康子 松比良節子 吉川 きぬ
ユニフェムよこはま(宮坂、西村(尚)、西村(洋)、渡邊)
匿名希望 2009年2月10日現在 (敬称略)

会員の皆さまへくお願い

年会費（1～12月）

個人会員 3,000円 団体会員 5,000円

*1月からスタートしております。同封の振込み用紙にて、お振込みくださいますようお願い申し上げます。

*納入の方には会員証をニューズレター発送の折、同封いたします。

*寄付者の方は、掲載をもってお礼に代えさせていただきます。

【編集後記】

- ★早朝から花の手入れで、見事な四季折々のガーデニングを楽しませてくれたお隣のご主人の会社がこの不況で合併。枯れたお庭に…。
- ★「経済危機の時だからこそ、もともと低い女性の賃金や就労困難な状況に手を差し伸べ、女性支援に力を入れるべき」とイネス事務局長。社会の現実と格闘しながらも他を思いやる心の余裕が自らを豊かにすると思うのですが…。

ユニフェム東京NEWS 第27号

発行人：ユニフェム東京会長 五十嵐康子

発行日：2009年3月5日

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1
ニューステートメナー331
Tel&Fax 03-6228-0029

郵便振替:00190-6-5508800
<http://www.unifemtokyo.org>